



コミュニティの発展に貢献するための取り組み

コミュニティの一員として、企業は社会的責任を果たしていかなければなりません。

アクサ生命は、コミュニティや社会の発展に貢献するための社会貢献活動に取り組んでいます。

→ ブラインドサッカーの支援活動

アクサ生命は、ブラインドサッカー支援活動の一環として、日本ブラインドサッカー協会（JBFA）が2010年より実施している「スポ育（出張授業）プロジェクト」を支援しています。

このプロジェクトは、ブラインドサッカー選手らが小学校に出向き、授業の中で視覚障害者とともにスポーツを楽しむ機会を提供するもので、子どもたちが障害者への理解を深め、チームワークの大切さを学んでいくことを目的としています。アクサ生命は、2006年からブラインドサッカーの普及・認知向上活動を支援しており、このプログラムが障害者への理解促進だけでなく、多くの学びを子どもたちにもたらす点に着目しています。



具体的な支援として、授業用のワークブック、教育関係者向けリーフレット、申し込み受付用の特設サイトなど、同プロジェクトに必要なツール類を制作して

JBFAに寄贈した他、出張授業の運営サポート要員として社員ボランティアを派遣しています。

→ エコキャップ運動

アクサ生命は、2010年3月より飲料サプライヤーと共同で、本社と一部の支社でペットボトルのキャップ回収運動（エコキャップ運動）に取り組んでいます。



エコキャップ運動とは、グループや個人単位でペットボトルのキャップを集めてNPO*に送り、集まったキャップをまとめてリサイクル業者に売却・換金してワクチンや注射器などの購入費に充て、途上国の子どもたちの支援に役立てるという取り組みです。この活動は、途上国の子どもたちを間接的に支援するとともに、ごみの減量にも役立っています。

* 「キャップの貯金箱推進ネットワーク」「世界の子どもにワクチンを日本委員会」

→ ブレックファストチャリティ

2008年から本社をはじめとする全国各地のオフィスで、「ブレックファストチャリティ*」を開催し、聾学校「明晴学園」（東京都品川区）に対する支援を呼びかけています。このチャリティは、アクサ生命で働く聾の社員による、同学園の情報提供がきっかけとなって実現したもので、2010年には趣旨に賛同した1,000人以上の社員が参加しました。



* 社内で朝食を販売し、その収益金を聾学校へ寄付する活動

→ 全国チャリティボウリング大会の開催

全国の商工会議所と共同で、倒したピン1本につき1円以上のチャリティ募金を行う「チャリティボウリング大会」を開催しています。この大会にはアクサ生命の社員のみならず、主要なビジネスパートナーである商工会議所・商工会の役員の方々も参加しています。寄せられた募金は、全国各地の新聞社を通じて、福祉事業の推進に広く活用いただいています。

→ 生命保険協会を通じた社会貢献活動

アクサ生命は、社団法人生命保険協会と全国の地方生命保険協会を通じて、要介護老人支援策、募金活動、献血活動など、さまざまな社会貢献活動に参加しています。

概算個数：67,278個

回収重量：168.20kg

約400個=1kg=約¥10で計算

ポリオワクチン換算 約 **84.0** 人分^{*1}

CO₂換算 約 **507.25** kg^{*2}

*1 ワクチン1人分はポリオ（約¥20）で算出しています。そのほかにBCG（約¥7）はしか（¥95）・MMR（約¥114）・DPT（約¥9）などがあります。

*2 CO₂の換算方法は、キャップ1kg（約400個）をごみとして焼却するとCO₂が3,150g発生しますので、重量（kg）×3,150gで計算しています。